

九月十日

建築史の先達たち、まだ読み切れない。ブツブツに切れた時間で読んでいるからかな。十一時大学打合わせ。十四時G A杉田君来室、小さなインタビュー。十五時半忍田邸打合わせ。十七時半難波和彦先生来室。十八時過新大久保駅前そば屋で会食。五年後のアイルランド旅行のディテールをつめる。そのアイルランドの旅の為に「技術と歴史」研究会を東大難波研究室主催で設立する事になった。二十時半過世田谷村に戻る。鈴木博之先生にお願いしていた資料が届いていた。

九月十一日

六時前起床。ゆっくり新聞を読む。自民党野中広務の引退表明をどうやら冷やかに各メディアは受け取めているようだ。時代は動いているのかな。昨日鈴木先生に送って頂いた資料に眼を通す。歴史というのは、特に近代史は面白い、実に。八時過までスケッチ。十時大学。「建築史の先達たち」読了。十九時過まで、打合わせ。二〇時四〇分京王線。今日は目の前の七人掛けの内、四人全部女性がケイタイピコピコ族。勿論全員非美人。本当にケイタイ女は美とは縁の無い人が多い。

九月十二日

七時四五分起床。目ざめる時間に振れが出てきた。流石に朝の

京王線車中でケイタイピコピコ族は少ない。夜に多いと言う事はやはり、ピコピコの殆どは私事なのだろう。私事を他愛なしとするかどうかは価値観の相違だ。郊外から都心の旧来の目的地へ向かう時にピコピコは出現しない。目的から解放される時間に多くピコピコは発生する。私語の拡張現象か。十時過大学。十四時日経取材。十五時半鉄骨打合わせ。十七時TVプロダクション元太田氏来室。相談。高田馬場で会食。太田君はNHK国宝探訪で知り合った人間で、TV番組作りに独自の夢を持っている人である。こういう人が延びて、力を持って欲しいと、つくづくと思う。

二十二時前京王線新宿。今夜は四人掛けの席に、一人ケイタイピコピコ(男)。この男が同時に好調レモンなる缶ジュースを飲む。座っている私の前に立つ女が、ケイタイ、ピコピコ。しかし、今夜はまだ狂気の沙汰ではない。前に立つ、ピコピコ女の隣に立つ、少しばかり年を経たワニならぬオバさん、異様な事に雑誌「室内」を三冊まとめて、かかえている。これは室内編集の女なのかといぶかしむが、その気配も無さそうで、どういふ女性なんだろう。